

令和5年度事業報告書

社会福祉法人常成福祉会
総合福祉施設 丹沢自律生活センター

障害者支援施設「丹沢レジデンシャルホーム」

生活介護事業所「花鳥デイサービスセンター」

多機能型事業所「秦野ワークセンター」

居宅介護事業所「花鳥地域生活支援センター」

日中一時支援事業所「ときの家」

生活介護事業所「あじさい」

秦野市児童発達支援事業所「たんぽぽ教室」

相談支援事業所「丹沢自律生活センター総合相談室」

【参考】令和5年権利保障システム実施報告書（概要版）

第1 社会福祉法人常成福祉会

1. 重点目標の進捗状況

(1) 第5次施設整備計画の進捗状況は、事業に活用する用地が変更になったことに伴い、神奈川県社会福祉協議会振興資金の借入申込内容の変更を申請し、令和5年12月25日付けで承認通知を受領しました。土地の買収については、売買契約を令和6年2月9日に締結し、3月25日に完了しました。

- ・土地；秦野市戸川26番1 26番5 3, 264. 57㎡
- ・売買金額；108,000,000円

(2) 健全な財務規律の確立では、物価高騰による事業費・事務費支出において、光熱水費の節電や給食の食材料の品目等を工夫した。器具備品等の修繕では、優先順位を確認し効率的な執行に努めた。

2. 理事会、監事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催状況

(1) 理事会

- ・第1回（事業報告、決算の承認、次期役員・評議員の推薦他） 令和5年5月27日
- ・第2回（理事長・専務理事の選定他） 令和5年6月20日
- ・第3回（上半期事業報告、収入・支出状況、顧問の選任他） 令和5年11月11日
- ・第4回（事業計画・収支予算、整備計画他） 令和6年3月16日

(2) 監事会（業務及び会計監事監査の結果の総括） 令和5年5月25日

(3) 評議員会

- ・定時評議員会（決算及び財産目録の承認、次期役員選任他） 令和5年6月14日
- ・臨時評議員会（事業計画・収支予算他） 令和6年3月27日

(4) 評議員選任・解任委員会（評議員候補者に対する評議員選任） 令和5年5月27日

3. 職員雇用の状況 職員総数116人（常勤58人、臨任58人）＊3月31日現在

- ・入職者数 常勤 5人（自律1、保健1、栄養1、療育1（嘱託）、相談1）
臨任 10人（自律1、リハ1（嘱託）、地域2、就労2、居宅2、療育2（嘱託1）、
栄養1）
- ・退職者数 常勤 5人（自律2、栄養2、居宅1）
臨任 5人（栄養1、リハ1（嘱託）、地域1、居宅1、療育1（嘱託））

4. 社会貢献の状況

- ・秦野市社会福祉協議会地域公益事業への参加
- ・神奈川県共同募金会自動販売機（ライツはだの）
- ・日本財団自動販売機（丹沢自律生活センター）
- ・菩提地区買物支援への車両貸出（24回）

第2 障害者支援施設：丹沢レジデンシャルホーム

1. 重点目標の進捗状況

(1) 居住者との関わり方の質の向上

『接遇改善チーム』の名称を『研修チーム』に変更し、接遇を含めた職員の資質向上に関連する取り組みを企画・検討する役割を持たせ、虐待防止研修の他、各種研修を実施している。上半期に実施した虐待防止研修の他、福祉現場における接遇・マナーの基本及び不適切な対応の改善方法について個人ワークを中心に実施した。その2か月後に職員を対象とした接遇アンケートを行い、接遇に係る意識や行動を風化させないように自身を振り返る機会を設けた。

(2) 居住者の生活支援、意思決定支援に係る質の向上

県の意思決定支援補助事業を活用し、15人の居住者について意思決定支援のベースとなる情報を集約するための「ヒアリングシート」を作成し、それぞれの意思決定支援会議を開催した。また、本人の思いや願い、生活への希望を把握し、その情報から本人のニーズを整理した上で支援目標を確認し、各種支援を進めた。施設での暮らしの充実の他、意思決定支援を展開する上でグループホームや他法人の生活介護事業所といった社会資源との繋がり機会を徐々に得ることが出来ている。

2. 居住者の状況

※括弧内はミドル入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
初日在籍(人)	45	43	44	44	42	43	42	43	44	43	43	43	-	-
入所者数(人)	0	(1)	(1)	0	1	0	0	1(1)	0	0	0	0	2(3)	5(3)
退所者数(人)	2	1	0	1(1)	0	(1)	0	0	1	0	0	0	5(2)	8(3)
月末在籍(人)	44	43	44	43	43	43	42	44	43	43	43	43	-	-

3. 短期入所事業利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
利用者数(人)	8	5	5	5	3	1	4	5	6	6	2	8	58	45
利用日数(日)	35	11	19	18	13	2	13	12	22	22	11	46	224	221

4. 活動の状況

(1)外出関係	回数	参加人数(延べ)
行事	2回	5人
移送サービス	53回	94人
(2)クラブ活動	回数	参加人数(延べ)
音楽	17回	123人
華道	12回	67人
卓上	10回	59人
スポーツ(ホッパ)	10回	159人
スポーツ(ローリングバレー)	6回	90人

5. 意思決定支援や地域生活移行支援への取り組み

(1) 神奈川県意思決定支援実践研修補助事業の活用【神奈川県補助事業】

神奈川県の補助事業を活用し、居住者 15 名の協力を得て、意思決定支援の推進に向けた取り組みを行いました。当法人における権利保障システムを基盤とし、それを推進する視点や知識、技術を実践的に獲得する為の機会としました。居住者とのかかわり、思い(意思)のアセスメント、支援の幅の広がり、本人参画の支援会議の実施等、本人中心の支援の質を高める上で組織、個人としても効果的な取り組みになりました。

(2) 神奈川県地域移行湘南西部圏域推進事業【神奈川県委託事業】

湘南西部圏域に所在する障害者支援施設に配置される地域生活移行スペシャリストと連携し、施設利用者の地域生活移行支援を推進することを目的とした取り組みに着手しました。当施設では、この圏域の取り組みを総括し、人材育成や関係機関との連携、移行先の充足等に向けた検討やサポートを担います。地域生活移行ありきの支援ではなく、意思決定支援を軸に置いた本人中心支援が展開されるよう次年度より本格的な活動を進めていく予定です。

6. 保健医療関係

定期健康診断について、居住者延べ 84 人(常成福祉診療所)、職員延べ 116 人を対象として実施している。新型コロナウイルスが感染症法上 5 類への移行後もワクチンの追加接種を希望する職員及び居住者を対象に 5 月下旬から 6 月上旬の期間及び 10 月に接種の機会を設け、感染防止対策を徹底しながら健康管理への支援に努めた。

居住者の高齢化や障害の重度化により、健康面の観察を要する方が増加傾向にあり、保健医療担当と自律生活支援担当、栄養管理担当の連携を強化し、対応している。

7. 栄養管理関係

栄養ケアマネジメントについて、管理栄養士、生活員及び看護師等との連携のもと、居住者の健康管理に努めた。調理においては、職員個々の衛生管理に対する意識を向上させる為、申し送りや会議等で留意事項や改善点の確認を行い、業務を遂行できるように努めた。また、食事の提供や食事環境については、食事サービス委員会にて情報の共有を行い、食事提供に係るサービス提供の質の向上に努めている。

第3 生活介護事業所：花鳥デイサービスセンター

1. 重点目標の進捗状況

(1) ニーズの捉え直しと活動の変革

ここ数年間の利用者像として重複障害の方が増え、利用者から表出される希望や要望を支援に結び付けていく為には質の高いアセスメント力が求められてくる。集団生活であるからこそ表面化する個々の課題に支援していくと共にグループ単位であっても楽しめる活動提供について話し合いを継続し、利用者自身が集団の中においても主体的に活動に参画できる場となるよう見直しを図った。

また、リサイクル活動については参加希望が多くなっているため、今後も活動の1つの軸として生産的な活動の充実・展開を図りつつ、その中で個々のニーズに基づいた個別支援を展開した。

(2) チーム力の向上と個別支援のスキルアップ

職員のスキルアップは昨年度に実施したグループスーパービジョンを通じて支援の質を高め、個別支援の展開に反映させた。今年度も申し送りの時間や活動の終了後に利用者の様子確認や活動参加状況等を職員間で共有し、適切な対応方法を確認し合った。

また、虐待防止研修時にも職員間の情報共有が重要であることを認識し合うと共に、統一した対応と職員同士の連携を重視した支援を進めていくことを確認し合った。今後も個々の支援目標に沿って、日常の接し方や声の掛け方等を相互に共有し、スキルアップに繋げていけるよう努めていく。

2. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240	239
登録者数	24	25	24	24	24	24	23	23	23	23	24	24	285	265
予定者数	246	247	247	246	246	248	260	246	248	237	239	255	2965	2677
利用者数	188	180	176	167	158	172	211	191	169	140	159	161	2072	2085
利用率	76.4%	72.9%	71.3%	67.9%	64.2%	69.4%	81.2%	77.6%	68.1%	59.1%	66.5%	63.1%	69.9%	77.9%

3. 活動の状況

- ・ いちご狩り、ピザ作り、七夕会、ラーメン作り、ピースキャンドル作り、どんど焼き、初詣外出、買い物外出、市内公園参画、節分、ひな祭り等
※事業所内行事の一部は秦野ワークセンターとの合同レクとして開催している。
22回 延べ119人参加

4. その他

- ・ 秦野市社会福祉協議会活動協力（福祉体験プログラム、中学生ボランティア受入れ等）

第4 多機能型（生活介護・就労継続支援B型）事業所：秦野ワークセンター

1. 重点目標の進捗状況

(1) 作業内容・工程の整理

作業内容の見直しとしては、日々実施していたタオル納品や段ボール回収の時間帯と曜日の変更、牛乳パック切り作業とペットボトル回収を花鳥デイサービスセンターの活動として実施主体を変更するなど、リサイクル作業内容を大幅に見直し、主要作業に集中するように努めた。また、昨年度、農家の方と契約して開始した作業（作物の収穫等）にも対応できるよう体制を再編した。

各作業を円滑に進めていくためには、職員の存在が大きく作業工程に影響するため、全職員が協力し合い安定した作業となるように調整した。特に陶芸作業においては、顕著に影響してしまうため、職員間の認識を高め支援にあたった。工賃支給額については、昨年度と同等の額の支給となった。

(2) 作業環境の安全性向上

日頃から作業場の整理整頓と清掃を徹底し、利用者の身体状態の観察及び身体面の把握と助言を行っている。必要な方には補装具の修理等を提案し、実施することで転倒の防止に努めた。また、転倒の発生時間が多かった休憩時間中の様子観察を強化し、リスク要因に対する取り組みを行った。結果、昨年件数15件あった転倒事故が3件に減少した。

2. 利用者の状況

※上段：生活介護 下段：就労継続支援B型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日数（日）	20	20	22	20	19	20	20	21	20	19	19	20	240	239
	20	20	22	20	19	20	20	21	20	19	19	20	240	239
登録者数（人）	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156	158
	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	144
予定者数（人）	212	215	233	212	200	212	223	214	216	201	199	214	2551	2555
	200	201	219	200	188	199	209	210	192	177	172	187	2354	2350
利用者数（人）	182	159	205	181	158	169	185	185	162	171	154	182	2093	2213
	186	173	190	178	151	151	162	155	161	131	150	146	1934	2080
利用率	87%	74%	88%	81%	79%	80%	83%	90%	75%	85%	77%	85%	82%	87%
	93%	86%	87%	89%	80%	76%	78%	74%	84%	74%	87%	78%	82%	89%

3. 活動の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
出店回数	4	2	1	1	0	2	6	3	1	1	0	2	23	18

4. その他

- ・ ゆめ散歩からの受注にて福祉展記念品とNEXCO トートバックを作成

第5 居宅介護事業所：花鳥地域生活支援センター

1. 重点目標の進捗状況

(1) 関係機関との連携

サービス提供時に本人や家族の日常の言葉に耳を傾けることを意識した。このかわりにより利用者からあげられた思いや希望を的確に捉え、必要時には関係機関と連携しながら本人の不安解消や家族の介護負担軽減に繋がるよう取り組んだ。

(2) 安定したサービス提供に向けた体制整備

安定したサービスを提供するため、支援が特定のヘルパーに偏らないよう、OJT や同行訪問を行い、複数のヘルパーが対応できるよう事業所のサービス提供体制を整えた。その結果、職員の体調不良等により訪問調整を要する場合においても混乱なくサービスを提供することができた。また、複数の職員がサービス提供に携わることで、スタッフ会議において、多くの視点で支援方法や介助方法等について話し合うことができた。

今年度は人材の確保に取り組みながら、個々の職員が介助の質を高めるように育成にも積極的に取り組んだ。

2. 利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	前年度
身体介護： 契約者数（人）	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13.9人	12.2人
家事援助： 契約者数（人）	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6.6人	6.5人

3. 活動の状況

- ・ 居宅ヘルパー空き状況市内相談支援事業所へ配信
- ・ ミーティング内で事業計画重点目標の振り返り
- ・ 同行訪問によるOJT
- ・ モニタリング会議、各種カンファレンス参加
- ・ ヘルパー募集チラシ作成

第6 日中一時支援事業所：ときの家

1. 重点目標の進捗状況

(1) 信頼に応える積み重ね

新規利用児の受け入れの際は、ミーティング時に本人像や支援内容、注意事項について、事前にシュミレーションを行い、安心して過ごせる対応方法や環境整備を話し合った。このことにより利用児の緊張や不安を和らげることでスムーズな受け入れを行うことができた。また、利用時に見えてきたサービス提供時の改善点については、直ぐに検討を図って改善につなげた。急な休校時や家庭の事情にも応じることで相談しやすい事業所となるよう努めた。

(2) 関係機関との連携

学校、相談支援事業所と連携を図り、情報共有や利用児の状況把握に努めた。そこで確認された課題や本人の困り事については、スタッフ間で話し合い支援につなげた。また、進級等に伴う心身の変化が起きた際に、開催される担当者会議には積極的に出席して、情報の共有を図った。支援会議において得た情報は事業所内で共有し、支援時の留意点として利用場面に反映した対応を行った。

2. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	前年度
成人利用者数(人)	1	1	1	1	0	1	1	5	5	4	8	9	3	9.1
児童利用者数(人)	63	53	50	58	59	54	57	43	37	47	41	44	46.3	56
送迎人数(人)	42	43	39	25	6	38	46	35	25	35	38	28	33.3	38.8

3. 活動状況

- ・ 北地区周辺の散歩（古墳公園、菩提茶畑方面、白泉寺方面等）随時実施。

4. その他

- ・ 放課後等支援関係事業所連絡会出席
- ・ サービス担当者会議
- ・ 活動室貸出状況： 2回 39人（戸川西地区近隣住民）
- ・ 戸川西桜まつりへの職員派遣（1人）

第7 生活介護事業所：あじさい

1. 重点目標の進捗状況

(1) 医療的ケアが必要な方への体制整備

今年度より呼吸器が必要な方の利用に伴い、今までの体制整備に加えて呼吸器の研修等を実施した。呼吸器の研修では業者による取り扱いを学び、安全な環境を整えるために再度利用者の行動面に合わせた場を整理した。加えて、関係機関と連携し情報共有等を行う事で、本人・家族の安全・安心は当然のことながら、職員が安全で安心して支援できる環境設定に努めた。

また、秦野市内の医療的ケアがある方や家族の事業所に対するニーズを把握するため、支援学校や相談支援事業所等との連携を図った。さらに医療的ケア連絡会等にも積極的に参加した。

(2) 活動内容の拡充を図る

散歩や外出、公共施設の利用、イベント等への参加、季節行事の実施等を中心に活動を継続するとともに、利用者同士が関わり合いを持てる活動を提供できるよう支援に努めた。その様子を家族に分かりやすく報告する為、四半期に1度「あじさいだより」を作成して家族に配布した。今後も個別の意向に沿った活動、グループでの交流活動等、様々な活動を提供できるよう支援していく。

2. 利用者の状況

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日数(日)	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240	240
登録者数(人)	11	11	11	11	10	10	10	11	11	11	11	12	130	127
予定者数(人)	148	163	177	158	143	148	161	154	155	148	148	167	1870	1850
利用者数(人)	121	144	139	120	125	130	141	130	129	124	108	147	1558	1551
利用率	81.8%	88.3%	78.5%	75.9%	87.4%	87.8%	87.6%	84.4%	83.2%	83.8%	73.0%	88.0%	83.3%	83.8%

日中一時支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	前年度
利用児数(人)	7	9	8	8	4	7	8	8	5	5	7	4	6,7	0.4(平均)

3. 活動の状況

- ・ 散歩：カルチャーパーク、出雲大社等、車両外出：木村植物園、動物愛護センター、ピオトピア、中井中央公園、ふるさと公園等
- ・ 室内レク：スノーズレン、野菜収穫、壁面作成、スクイーズ作り、パラバルーン等
- ・ 行事：花見、苺狩り、季節の花鑑賞、鯉のぼり見学、夏祭り、七夕、かき氷、お月見等

第8 児童発達支援事業所：秦野市児童発達支援事業たんぽぽ教室【秦野市委託事業】

1. 重点目標の進捗状況

(1) 早期療育の場の構築

事業所の運営目的や役割を全職員で認識し合い、利用児（保護者を含む）個々の状況に沿って柔軟な運営に努めた。また、市内の関係機関とも積極的に連携し、利用児の生活環境全般への支援にも意識したサービス提供に努めた。

職員育成については、事業特性に応じた研修や施設見学（9か所）を実施した。また、実践場面では、経験年数に応じて、役割分担や業務内容を見直し、クラス運営に反映させた。

(2) 保護者支援の充実

児童を日々養育する保護者を支えることができるよう、クラス開催場面を通じて個々の相談に応じた。相談内容によっては、各種関係機関と連携を図る必要性も高く、子育てする保護者支援をすすめると共に子どもの健やかな成長につながるようサービス提供に努めた。また、昨年度から児童精神科医師の相談対象者を2・3歳から全利用者に変更し、それぞれの保護者が抱える不安や発達への理解につなげることができるようサービスの幅を広げた。

今年度は、保護者の思いをくみ取ることができるよう心理士の勉強会を踏まえて職員主体で懇談会を実施し、保護者同士が互いの思いを話せる場を設け、精神的な負担の軽減につながるよう支援をすすめた。また、近年増加している児童虐待等になる前の予防にも視点を置きサービス提供に努め、関係機関との連携を図った。

(3) 各種法令に沿ったサービスの提供

各種関係法令等を遵守しながら、秦野市との情報共有を図り、利用児や保護者に対して適切な療育、支援が提供できるよう努めた。

2. 利用者の状況

登録クラス	うさぎ (2歳児)		ぞう (3歳児)		ばんび (肢体)		いるか (4歳児)		くじら (5歳児)		登録者数総計		前年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
男女別登録数 (人)	7	7	10	5	1	1	6	2	10	3	34	18	33	13
計	14		15		2		8		13		52		46	
登録解除者数	0		1		0		0		0		1		1	

3. 活動の状況

- ・ 5歳児クラス：就学説明会の開催
- ・ 2歳児、3歳児クラス：進路・事業所説明会の開催
- ・ 4歳児、5歳児クラス：幼稚園・保育園担任対象情報共有会の開催
- ・ 3歳児クラス：心理勉強会の開催
- ・ 全クラス：保護者との懇談会を開催
- ・ 全クラス対象：児童精神科医師相談を実施

第9 相談支援事業所：丹沢自律生活センター総合相談室

1. 重点目標の主な取り組み

(1) 特定相談支援

① 計画相談支援（本体請求毎に主任相談支援専門員配置加算、要医療児者/精神障害者支援体制加算を計上）

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	前年度
	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童	特定	児童		
計画作成（Ⅰ）	7	9	12	3	8	1	7	0	7	0	3	1	4	1	9	0	7	1	6	1	10	0	8	0	106	99
モニタリング（Ⅰ）	11	0	9	0	21	2	18	0	22	1	20	1	18	3	18	0	20	0	20	0	12	0	23	0	220	171
初回加算				1		1						1		1				1		1	1		1		8	5
退院・退所時加算																			1				1		2	0
医療保育連携加算																			1						1	0
担当会議加算									1		1		1		1		1						1		6	11
モニタリング加算	8		7		17		4		11		8		8	1	8				6		9		9		98	43
入院情報連携加算																	2				1				3	0
居宅介護連携加算																									0	0
集中支援加算									2	1					2		4				2		1		12	18

目標達成率 ・計画作成 106 件 106/63（実績÷年間目標件数）=168.3%達成

・モニタリング 220 件 220/268（実績÷年間目標件数）=82.1%達成

② 秦野市障害者権利擁護センター事業（ライツはだの）【秦野市委託事業】

通報受付と対応の状況 ※令和5年4月1日～令和6年3月31日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規通報	養護者虐待	3	2	3	5	6	2	2	0	2	3	1	4	33
	施設虐待	0	1	1	2	2	1	0	1	0	0	0	0	8
	使用者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続事業	養護者虐待	4	7	8	6	8	8	8	8	7	9	5	5	83
	施設虐待	11	11	10	10	12	13	4	4	2	2	1	1	81
	使用者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規権利擁護相談		2	0	1	2	1	0	2	0	1	0	0	2	11
受付後の継続的相談支援対応		47	19	39	23	26	49	43	21	52	73	61	46	499

※養護者虐待への対応、終結後のフォロー、権利擁護関連の相談対応に当たっている。

◆普及啓発・ネットワーク形成

- ・市内の障害福祉サービス事業所において研修の実施 8回
- ・秦野市障害者虐待防止・権利擁護研修会を開催 72名参加

(2) 一般相談支援

① 地域相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
地域移行支援													2	6
地域移行支援サービス費（Ⅱ）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1ケース)	(2ケース)
初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集中支援加算	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
退院・退所月加算	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
地域定着支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時支援費Ⅰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時支援費Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

目標達成率 ・地域移行支援 1件 1/1 (実績÷目標件数) =100%達成
 ・地域定着支援 0件 0/1 (実績÷目標件数) =0%達成

② 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク形成事業 (圏域ナビ) 【神奈川県委託事業】

湘南西部圏域自立支援協議会	2回	秦野市障害者支援懇話会相談部門	6回
圏域事業調整会議、ナビ連絡会	4回	秦野市医療的ケア児支援者情報連絡会	3回
圏域相談支援NW会議	2回	秦野市相談支援事業所等連絡会	3回
圏域重心・医療的ケア児者支援NW会議	2回	秦野市にも包括に関する協議の場	2回
湘南西部圏域障害者差別解消支援地域協議会	2回	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	3回
湘南西部圏域あんしんネット協議会	4回	伊勢原市企画運営会議	2回
かながわ湘南西障福ナビだより	6回	伊勢原市相談支援部会	2回
平塚市障がい者自立支援協議会	3回	二宮町・大磯町障害者自立支援協議会	2回
平塚市企画運営部会	7回	二宮町・大磯町協議会部会	3回
平塚市計画相談支援連絡会	3回	平塚保健福祉事務所秦野センターにも包括関連会議	4回
平塚市精神分科会	3回	神奈川県精神保健福祉センター調査研究委員会	3回

湘南西部圏域相談支援体制充実強化事業として、市町行政、基幹相談支援センター、委託相談支援事業所、保健福祉事務所を対象にアセスメント研修会を開催した。圏域課題であるグループホームの支援力向上に向けて、3市のグループホーム連絡会の相互交流を図った。

③ かながわ医療的ケア児支援センター事業 【神奈川県委託事業】

圏域ランチ主任コーディネーター会議	10回	県センター相談受付対応 (毎週/月・水・金)	143日
政令市合同開催主任コーディネーター会議	2回	市町医療的ケア児部会・母子保健委員会・他	13回
運営会議・養成研修検討会・養成研修対応	22回	情報交換・会議・研修 (県・圏域・市町含む)	27回

④ 秦野市医療的ケア児等コーディネーター事業 【秦野市委託事業】

相談件数 (新規・継続) ※実人数	20件	こども部門医療的ケア児支援者情報連絡会	3回
コーディネーター連絡会・連絡会打合せ	12回	ケース会議 (個別支援・医療機関・地域支援)	45回
訪問・同行・面談	122回	電話・メール・連絡調整	2675回

⑤ 神奈川県地域生活移行推進民間提案事業 【神奈川県補助金事業】

- ・湘南西部圏域グループホーム連絡会 事務局会議の開催 1回 (出席者12名)
- ・関係団体等への事業周知 活動内容、組織図を掲載したチラシを作成し配布した。

圏域内市町行政、基幹相談支援センター	4回	圏域内市町自立支援協議会・部会等	11回
湘南西部圏域内市町グループホーム連絡会	4回	関係団体、会議等	7回

- ・研修ニーズ調査 伊勢原市、大磯町、二宮町のグループホームを対象に市町行政と合同実施。
- ・その他 研修の開催 (共催) 1回

⑥ 地域支援事業

- ・IT講習会 第1回：9月16日、第2回：2月3日 (各ボランティア1名、当事者1名参加)
- ・障害支援区分認定調査 22件